



東陽の旋風 かぜ ～自律協働貢献～

令和6年6月7日（金）No 10 発行
文責：松本 卓也

すべての生徒が学びに向かっています！

八代市教育委員会では、学校・園教育の充実を図るために、Aタイプ（経営訪問）、Bタイプ（管理・運営訪問）、Cタイプ（指導力向上訪問）を3年サイクルで実施しています。東陽中では、31日（金）に「研究授業及び分科会、全体会を通して、教職員の指導力・授業力の向上に資する。」ことをねらいとしたCタイプ訪問が行われました。研究授業として、10本の授業を公開し、八代市教育委員会、八代教育事務所の指導主事の先生方に参観していただきました。

また、懇談会では、学校経営概要説明を校長、教頭、教務主任、研究主任、養護教諭から行い、教育委員の皆さまから本校の取組に対して、「学習リーダーにはいろいろなタイプがある。どんな姿を目指しているのか？」「今年度の不登校の状況はどうか？」「女子の身体状況が気になる。ぜひ小学校と連携してほしい。」「ボランティアガイドや伝統文化学習の取組は、自信を持たせ、地域貢献につながる活動である。ぜひ、続けてほしい。」等、貴重なご意見、ご感想をいただきました。最後に行われた全体会では、



- U指導係長から校内研究の取組・授業改善について、
 - 学びの環境づくりができており、すべての生徒が学びに向かっていた。
 - 分かる授業づくりとして、単元のゴールの共有や振り返りの時間の確保がなされていた。
 - ▲学習リーダーの活躍の状況が授業によって違いがあった。今後、検証を深めてほしい。
 - ▲ICTの効果的な活用の取組を互いに共有してほしい。
- K学校教育課長から学校経営・八代市の重点課題・危機管理について、
 - 学校の本気度を感じることができた。
 - 「中学生になるのが楽しみ」と回答した東陽小6年生の割合が、75%から85%へ向上している。小中一貫・連携教育の取組の成果が見られる。
 - ・先生方が学校運営への参画意識を高くもっておくことが学校の活性化につながる。
 - ・いじめを未然に防止するために、学級の雰囲気の小さな変化に素早く気づいてほしい。
- S教育部次長から指導のまとめとして、
 - ・各部会で受けた助言について、学校全体で共有してほしい。
 - ・これから実践していくことが大事である。
 - ・教育目標の実現に向け、「使命感」をもって取り組んでほしい。



等、さまざまな観点からご指導、ご助言をいただきました。「先生方自身が一日一日成長してください。」、S教育部次長からいただいた温かな励ましの言葉です。5日（水）の合同研修で東陽小学校の先生方と課題を共有し、班別協議を行いました。今後の授業改善につなげてまいります。

先人の残した技術や思いを引き継いでほしい

全国民俗芸能保存振興市町村連盟の総会が5月31日（金）・6月1日（土）に八代市で開催されました。市内視察の一環として、17名の皆様にボランティアガイドを行いました。これまで調べてきたことをもとに、歴史や由来、言い伝え等、工夫して説明する姿が見られ、東京都板橋区長のS様から、「皆さんから郷土愛というものを感じました。先人の残した技術や思いを引き継いでください。」との温かなエールをいただきました。

石工の里、東陽の魅力さをさらに発信できるように、子どもたちとともに工夫・改善をしています。



輝く姿を期待します！

八代中体連まで、いよいよ3週間を切りました。4日（火）、ランチミーティングを行い、男子バレーボール部、バドミントン部の両キャプテンに、中体連にかける思いを尋ねました。「中体連、絶対優勝です！悔いのない試合をしたいです。（男子バレーボール部）」「3年生にとって最後の大会。やり残したことがないように、練習を精一杯取り組んでいきたいです。（バドミントン部）」。キャプテンとしての決意を示した力強い言葉が返ってきました。自分を信じて、仲間を信じて、中体連で輝く姿を見せてください！“起こせ 東陽の旋風！！”



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）